

NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8500-425/426/427/428/429/430/431

Express5800/120Ld

ユーザーズガイド

このユーザズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザズガイドには装置のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



警告

指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。



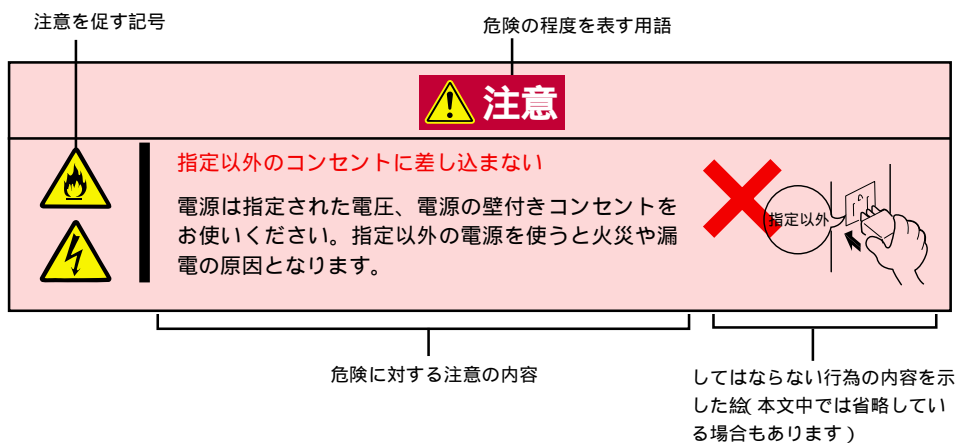
注意

指示を守らないと、火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (接触禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (プラグを抜け)

(ユーザズガイドでの表示例)



ユーザズガイドおよび警告ラベルで使用する記号とその内容



注意の喚起

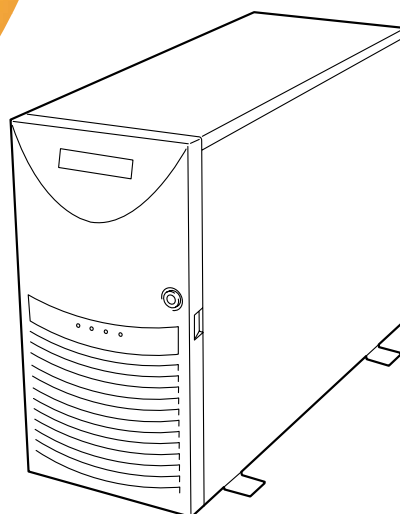
	感電のおそれがあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	指などがはさまれるおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	高温による傷害を負うおそれがあることを示します。		

行為の禁止

	特定しない一般的な禁止を示します。		本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
---	-------------------	---	--------------------------------------

行為の強制

	本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。		特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。
---	--	---	--



NEC Expressサーバ
Express5800シリーズ

N8500-425/426/427/428/429/430/431

Express5800/120Ld

ユーザーズガイド

商標について

ESMPROとExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDERとStarOfficeは日本電気株式会社の商標です。

Microsoftとそのロゴおよび、Windows、Windows NT、MS、MS-DOS、BackOffice、Exchange Serverは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。

NovellおよびNetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。

ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Adaptecとそのロゴは米国Adaptec, Inc.の登録商標です。

SCSI Selectは米国Adaptec, Inc.の商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat は、Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の商標です。

DLTとDLTapeは米国Quantum Corporationの商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0、およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。

Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。

Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

SBSはMicrosoft® BackOffice® Small Business Serverの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

高調波適合品

本装置は通商産業省通知の家電、汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しています。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置(UPS)等を使用されることをお勧めします。

レーザー安全基準について

本装置に標準で搭載されているCD-ROMドライブは、レーザーに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1に適合しています。

海外でのご使用について

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、この装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、NECのExpressサーバをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Express5800/120Ldは、最新のマイクロプロセッサ「Intel® Pentium® III Processor」を搭載した高性能サーバです。

NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご利用いただけることでしょう。

Expressサーバの持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、装置の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について




本書は、Expressサーバを正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。Expressサーバのセットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常にExpressサーバのそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows NTなどのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店、またはお買い求めの販売店に品名と型名を次のように指定してお申し込みください。本書を再購入できます。

- 品名 Express5800/120Ld ドキュメントセット
- 型名 UL9020-442

「Express5800/120Ldドキュメントセット」には、次のものが含まれています。

- ユーザーズガイド
- スタートアップガイド
- お客様登録申込書
- 構成品表(各モデル別: N8500-425 ~ 431)

本文の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください(2～11ページの「使用上のご注意」を必ずお読みください)。

- 第1編 導入編 Expressサーバを安全に正しく取り扱うための注意事項、およびExpressサーバを導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになれるまでのセットアップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しくExpressサーバをお使いになるシステム環境へ導入してください。
- 第2編 ハードウェア編 Expressサーバのハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、Expressサーバにふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。
- 第3編 ソフトウェア編 Expressサーバに添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。
- 第4編 運用・保守編 Expressサーバを運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」と思ったときは、Expressサーバの故障を疑う前に参照してください。

付属品の確認

Expressサーバの梱包箱の中には、Expressサーバ本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。




付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、Expressサーバが故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」の構成品については、パッケージの中にある構成表を参照してください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクのバックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディスクとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスクまたはCD-ROMは、その使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

目次

はじめに	v
本書について	vi
本文中の記号について	vi
本書の再購入について	vi
本文の構成について	vii
付属品の確認	vii

1 導 入編

 使用上のご注意 ～必ずお読みください～	2
警告ラベルについて	2
安全上のご注意	3
取り扱い上のご注意 ～装置を正しく動作させるために～	8
第三者への譲渡について	9
消耗品・装置の廃棄について	10
Expressサーバの特長	12
サーバ管理	13
ストレージ管理	14
電源管理	16
ネットワーク管理	16
導入にあたって	17
システム構築のポイント	17
運用方法の検討	17
稼動状況・障害の監視、および保守	17
システムの構築・運用にあたっての留意点	18
出荷時の状態を確認しましょう	18
セットアップの手順を確認しましょう	19
各運用管理機能を利用するにあたって	22
ユーザー登録	24
セットアップ	25
ハードウェアのセットアップ	26
カスタムセットアップ ～カスタムインストールモデルのセットアップ～	26
セットアップをはじめる前に ～購入時の状態について～	26
セットアップの手順	26
シームレスセットアップ	29
OSのインストールについて	30
セットアップの流れ	32
セットアップの手順	34
障害処理のためのセットアップ	40
管理ユーティリティのインストール	44
システムのアップデート ～Service Packの適用～	45
システム情報のバックアップ	45
マニュアルセットアップ	46
Windows NT 4.0・Windows NT 4.0 EEのセットアップ	47
SBSのセットアップ	54
Windows NT 4.0/TSEのセットアップ	62
Novell NetWare 3.2J/4.2(日本語版)/5(日本語版)のセットアップ	66

2 ハードウェア編

各部の名称と機能	100
装置前面	100
装置前面(フロントドアを開いた状態)	101
装置背面	102
装置内部	103
マザーボード	103
ランプ表示	104
POWERランプ	104
STATUSランプ	104
DISK ACCESSランプ	106
SLEEPランプ	106
アクセスランプ	106
3.5インチデバイスベイのランプ	107
設置と接続	108
設 置	108
接 続	110
基本的な操作	114
フロントドアの開閉	114
電源のON	114
POSTのチェック	115
POSTの流れ	115
POSTのエラーメッセージ	117
電源のOFF	122
省電力モードの起動	122
フロッピーディスクのセット/取り出し	123
CD-ROMのセット/取り出し	125
内蔵オプションの取り付け	127
安全上の注意	127
静電気対策について	129
取り付け/取り外しの準備	129
取り付け/取り外しの手順	130
フロントドア	130
サイドカバー	131
3.5インチハードディスク	132
CPUエアダクト	136
5.25インチデバイス	137
PCIボード	142
ディスクアレイコントローラボード	145
ISAボード	148
CPU	149
DIMMボード	153
ケーブル接続	156
標準構成 ～ディスクレスモデル～	156
標準構成 ～Windows NTモデル～	156
DISK増設筐体との接続	157
ディスクアレイコントローラ(N8503-49)を使用した場合の例	157
ディスクアレイコントローラ(N8503-44)を使用した場合の例	158
最大構成のときの接続例	159

BIOSのセットアップ	160
システムBIOS ～SETUP～	160
起 動	160
キーと画面の説明	161
設定例	162
パラメータと説明	165
SCSI BIOS ～SCSISelect～	183
SCSISelectユーティリティの用途	183
マザーボード内蔵のコントローラに対する設定	183
オプションボードのコントローラに対する設定	189
オプションSCSI機器用設定リスト	189
ディスクアレイBIOS ～ディスクアレイBIOSユーティリティ～	190
リセットとクリア	192
リセット	192
強制シャットダウン	192
CMOS・パスワードのクリア	192
割り込みラインとI/Oポートアドレス	195

3 ソフトウェア編

添付のCD-ROMについて	200
EXPRESSBUILDER	201
起動メニューについて	201
EXPRESSBUILDERトップメニュー	202
起 動	202
キーボードの選択	202
シームレスセットアップ	203
ツールメニュー	203
マスターコントロールメニュー	207
Mylex DACコンフィグレーションユーティリティ	208
本ユーティリティの使用制限	208
使用上の注意	208
コンフィグレーションの手順	209
コンフィグレーション情報を新規に設定する場合	209
ハードディスクの追加を行う場合	210
コンフィグレーション情報を変更する場合	210
ハードディスクが故障した場合	211
アレイコントローラの交換を行う場合	212
ユーティリティの起動と終了	213
起動画面	213
起動に失敗した場合	213
終了方法	215
ユーティリティの主な機能	216
New Configuration	216
View/Update Configuration	219
Rebuild	220
Initialize System Drive	221
Consistency Check	222
Tools	222
Select DACXXX	224
Advanced Functions	225

ExpressPicnic	227
ExpressPicnicのインストール	227
Windows NT 4.0またはWindows 95/98	227
Windows NT 3.51	228
セットアップパラメータFDの作成	229
コンピュータからの情報採取	231
大量インストール	231
Express本体用バンドルソフトウェア	233
ESMPRO/ServerAgent(Windows NT版).....	233
インストール前の準備	233
インストール	233
インストール後の確認	234
ESMPRO/ServerAgent(NetWare版).....	234
インストール前の準備	234
インストール	235
TRAPTARG.CFGファイルの作成	237
アンインストール	238
Global Array Manager Server(Windows NT版).....	239
カスタムインストールモデルでのセットアップ	239
シームレスセットアップを使ったセットアップ	239
手動インストール(新規インストール).....	240
Global Array Manager Server(NetWare版).....	242
動作環境	242
GAM Serverをインストールする前に	242
インストール用のフロッピーディスクの作成	243
インストール	243
アンインストール	244
自動クリーンアップツール	245
カスタムインストールモデルでのセットアップ	245
シームレスセットアップを使ったセットアップ	245
手動インストール(新規インストール).....	246
Array Recovery Tool.....	247
CLARiiON Array Manager	247
エクスプレス通報サービス	248
カスタムインストールモデルでのセットアップ	248
手動インストール(新規インストール).....	249
ESMPRO/UPSController Ver.2.0	251
カスタムインストールモデルでのセットアップ	251
新規インストール	253
PowerChuteplus Ver.5.11J	255
カスタムインストールモデルでのセットアップ	255
新規インストール	256
管理PC用バンドルソフトウェア	257
ESMPRO/ServerManager	257
Management Workstation Application	257
MWAについて	257
管理PCとExpressシリーズ間の通信方法について	257
MWAの機能	258
動作環境	259
MWAのインストール	259
Express5800シリーズのリモートマネージメントコンフィグレーション	260
Global Array Manager Client	262
カスタムインストールモデルでのセットアップ	262
シームレスセットアップを使ったセットアップ	262
手動インストール(新規インストール).....	262

4 運用・保守編

日常の保守	266
アラートの確認	266
ステータスランプの確認	266
バックアップ	267
クリーニング	267
本体のクリーニング	268
キーボード / マウスのクリーニング	269
CD-ROMのクリーニング	269
システム診断	271
システム診断の内容	271
システム診断の起動と終了	271
障害時の対処	273
障害箇所の切り分け	273
エラーメッセージ	274
トラブルシューティング	276
Expressサーバについて	276
EXPRESSBUILDERについて	281
シームレスセットアップについて	282
マスターコントロールメニューについて	284
ディスクアレイについて	285
ExpressPicnicについて	287
障害情報の採取	288
Windows NT 4.0をお使いの場合	288
NetWareをお使いの場合	291
システムの修復 ～ Windows NT 4.0 ～	292
修復手順	292
ネットワーク関連の修復	292
オフライン保守ユーティリティ	293
オフライン保守ユーティリティの起動方法	293
オフライン保守ユーティリティの機能	294
移動と保管	295
ユーザーサポート	297
保証について	297
修理に出される前に	297
修理に出される時は	298
補修用部品について	298
保守サービスについて	298
ハードウェア保守サービス	299
ソフトウェア保守サービス	300
オプションサービス	300
情報サービスについて	302
付録A 仕様	303
付録B 保守サービス会社網一覧	306
索引	311

添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」には次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ユーザーズガイド(本書)
- Mylex DACコンフィグレーションユーティリティオペレーションガイド
- Microsoft Windows NT 4.0 Server/Microsoft Windows NT 4.0 Server, Enterprise Editionインストールレーションサプリメントガイド
- ESMPRO/ServerAgent(Windows NT版)インストールレーションガイド
- ESMPRO/ServerManager(Windows NT版/Windows 95版)インストールレーションガイド
- エクスプレス通報サービスインストールレーションガイド
- Global Array Manager Server(Windows NT版)インストールレーションガイド
- Global Array Manager Clientインストールレーションガイド
- Global Array Managerオペレーションガイド
- 自動クリーンアップツールインストールレーションガイド
- Array Recovery Toolインストールレーションガイド
- CLARiiON Array Managerインストールレーションガイド
- Express Server Management Guide